

平成29年度
寄附金会計並びに機構事業のご報告①

事業名：列島縦断「防災・減災公開講座」in 名古屋

主催：特定非営利活動法人日本防災士機構

共催：日本防災士会東海支部連絡協議会

後援：東海地方郵便局長会

開催：平成29年7月29日（土曜）13時30分～16時

参加者：約200名（防災士、市民）

会場：名鉄グランドホテル 柏の間（愛知県名古屋市）

講師：羽田道信（藤田保健衛生大学医療科学部教授）

事業内容：当機構では、防災士へ最新の防災情報を提供すること、国民にわかりやすい防災啓発を行うことをめざし、社会貢献事業の一環として「防災・減災公開講座」を開催しております。
詳細は次頁以降参照（日本防災士機構ホームページより）。

事業費：当事業の寄附金使用総額 927,721円

| | |
|------------------|------------|
| 寄附金：平成28年度寄附金繰越額 | 272,043円 |
| 平成29年度受取寄附金総額 | 3,773,200円 |

列島縦断「防災・減災公開講座」開催 in 名古屋

列島縦断 防災・減災公開講座 in 名古屋

地域・職場における災害
への体制づくりと災害対応

日時 2017年 7/29 (土) 13:30 - 16:00

会場 名鉄グランドホテル 11階 柏の間

先着200名
参加費: 無料

■ 基調講演
～「災害時地域拠点として何が出来るか～」

講師 羽田道信氏
藤田保健衛生大学 医療科学部教授

講師プロフィール: 1951年兵庫県生まれ、日本体育大学、神戶大学大学院人間科学部健康増進学専攻修了。専門は、保健衛生、防災。防災-応急救急を中心に、災害対応の体制づくりについて研究。また、災害時における地域拠点の役割を研究し、防災-応急救急対応の体制づくりについて研究。また、災害時における地域拠点の役割を研究し、防災-応急救急対応の体制づくりについて研究。

■ 防災・救急に役立つ日用品活用法 (実技)

主催: 特定非営利活動法人日本防災士機構
共催: 日本防災士会愛知県支部
協賛: 愛知県消防庁

特定非営利活動法人
日本防災士機構

平成 29 年 7 月 29 日、名古屋市、名鉄グランドホテル・柏の間において「防災・減災公開講座 in 名古屋」を実施しました。

第 1 部では、藤田保健衛生大学 医療科学部教授 羽田道信氏より、地域・職場における災害への体制づくりと災害対応「災害時地域拠点として何が出来るか」と題して講演が行われました。

特に、多数参加された郵便局長を前にして地域や職場、組織の持っている「強み」と「弱み」について説かれると共に、その中で郵便局としての役割の重要性を指摘され、各局がそれぞれの対応能力に合わせて柔軟に地域協力活動を行い、被災時に、直ちに業務を再開できない局を他局が補完することが重要との話をされました。

さらに、災害に対する備えに有効な個人携帯用の緊急対応カードなどを活用する手法についてわかり易いお話をして頂きました。

第 2 部では、防災・救急に役立つ日用品活用法（実技）として羽田教授からロープワーク講習・ゴミ袋で作る防寒着、カップ、袋や新聞紙で作る靴等の実例を交えて分かりやすく指導していただきました。日本防災士会愛知県支部より約 20 名の方の指導補助もあり、初心者でも分かりやすく充実した内容の講座となりました。



来賓氏
 (志から築地日本防災士会愛知県支部長
 高橋貴海(地方振興局長副会長
 前日本防災士会副理事長)



公開講座名古屋会場全景



基調講演 羽田道徳教授



防災・減災公開講座 in 名古屋

主催者挨拶
 鈴木正樹 日本防災士会副理事長



受付風景



講師実技指導風景



列島縦断 防災・減災公開講座 in 名古屋
 2017.7.29



成田氏
 加藤方隆(愛知県支部事務局長)



実技講習で盛り上がる参加者



会場・名鉄グランドホテル



実技講習風景

